



2026年5月21日

各 位

会 社 名 株式会社フォーバルテレコム
代 表 者 代表取締役社長 行 辰哉
(コード：9445 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取 締 役 山 本 忠 幸
電 話 番 号 03-6825-4086

支配株主等に関する事項について

当社の親会社である株式会社フォーバルについて、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

1. 親会社の商号等

(2026年5月21日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券等が上場されている 金融商品取引所等
		直接保有分	合算対象分	計	
株式会社フォーバル	親会社	70.2%	—	70.2%	株式会社東京証券取引所 スタンダード市場

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

(1) 親会社等の企業グループにおける当社の位置付け

株式会社フォーバルは、2026年5月21日現在で当社株式の70.1%を所有している筆頭株主であります。

当社は、親会社である株式会社フォーバルを中心とする企業集団（フォーバルグループ）に属しております。フォーバルグループは「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）」として企業経営を支援する集団となり、中小・小規模企業の利益に貢献することを目指し、「情報通信の知識・技術を駆使した経営コンサルティングサービス（情報通信）」、「海外マーケットを独自ノウハウで取り込む経営コンサルティングサービス（海外）」、「環境に配慮した最先端の経営コンサルティングサービス（環境）」、「次世代経営に必要な人材を育てる経営コンサルティングサービス（人材・教育）」、「企業のライフサイクルに対応した経営コンサルティングサービス（起業・事業承継）」の5分野において他社との差別化を図り、質の高いサービスを提供するためにM&Aも活用しながら事業の拡大に取り組んでおり、当社はフォーバルテレコムビジネスグループのセグメントに位置付けられております。

2026年3月31時点では、取締役1名が親会社と兼務しております。また、社員については出向者1名を受け入れております。

(役員の兼務の状況)

(2026年3月31日現在)

役職	氏名	親会社等又はそのグループ 企業での役職	就任理由
取締役	谷井 剛	株式会社フォーバル常務取締役	グループ事業の連携を強化するため

(2) 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約等

株式会社フォーバルは、当社の企画立案したサービスを、当社の代理店として商品販売・サービスの取次・委託業務等を行っております。その結果、グループの事業展開に相乗効果をもたらすメリットがあります。

(3) 親会社等からの一定の独立性の確保の状況

当社は、親会社の主たる事業である「情報通信コンサルタント業」とは事業内容が異なるため、事業上の制約は無く、事業活動の棲み分けがあります。取引条件は親会社グループ各社と市場価格・水準を勘案して一般取引条件をベースに決定しております。また、取締役1名が当社の取締役を兼務しておりますが、当社独自の経営判断を妨げるものではなく、自らの判断に基づき事業活動展開しており、一定の独立性を有していると考えております。

3. 支配株主等との取引に関する事項 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

属性	会社等の 名称	所在地	資本金	事業の内容	関連当事者 との関係	取引内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	株式会社 フォーバル	東京都 渋谷区	4,150	情報通信コン サルタント業	当社サービスの 利用及び取次	商品の販売 等	365	売掛金	113
						サービスの 取次・委託業 務等	73	買掛金	10
						株式売却代 金	464	未払金	546

- (注) 1. 商品・サービスの販売価格については、市場価格等を参考に決定しております。
2. 委託業務費については、役務提供に対する費用単価を勘案して交渉の上、決定しております。
3. 子会社株式の譲渡価額の算定に際しては、独立した第三者機関により算定された価格を基礎として協議の上、合理的に決定しております。

4. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

親会社グループとの営業上の取引については、市場価格・水準を勘案して一般取引条件をベースに決定し、取引を履行しております。なお、支配株主との重要な契約の締結については、取締役会で審議し、支配株主以外の株主の利益を阻害していないことを確認しております。

以 上